

生活科調査研究報告書

<p>書名 観点</p>	<p>東京書籍 ときどくわくわく あたらしいせいかつ 上 あしたへジャンプ 新しい生活 下</p> <p style="text-align: center;">1 3 1 1 3 2</p>
<p>取 扱 内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域の商店街の人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動することができるようになっている。 ○ 「自分と社会とのかかわり」については、生活の場となる地域の商店街や公民館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や、行動の仕方について考えることができるようになっている。 ○ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ虫探しをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○ 「自分自身に関すること」については、学習や生活の場でできるようになったことを振り返ったり、自分や友だちのよさを探したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活できるようになっている。 ○ 「学び方に関すること」については、町探検で調べた店を紹介する作文を書いたり、家族の歴史を巻物にしてまとめたりする活動を通して、体験と言葉をつないで気付いたことや、楽しかったことを表現し考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、確かな学びと指導を支えるための図鑑「ポケットずかん」、資料「べんりてちょう」、単元末に学習を広げる資料「やってみよう」などが取り扱われている。
<p>内容 の排 構列 成・ 分量 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、飼育・栽培において、身近な動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。また、「さっぽろ雪まつり」や札幌市青少年科学館などを取り上げ、北海道とのかかわりをもたせている。 ○ 内容の排列については、スタートカリキュラム「すたあとぶっく」を掲載し、効果的な指導を行い、徐々に各教科に分化していよう工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページで、238ページとなっており3パーセント増となっている。
<p>使用 上の配 慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四季を意識しながら学習を進められるようにしたり、キャラクターが思考を促すヒントを与えたりするなど、児童の学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 変形ページにより植物の成長過程を示したり、吹き出しに気づきの具体例を示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 植物の挿絵を実物大で示したり、うがい・てあらいマーク、「やくそく」を付して衛生面・安全面を配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	

生活科調査研究報告書

書名 観点	大日本図書 たのしいせいかつ 上 なかよし たのしいせいかつ 下 はっけん 1 3 3 1 3 4
取扱 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分と人々とのかかわり」については、地域の農家の人たちに野菜の育て方を教えてもらったり、地域の商店街の人々と交流したりする活動を通して身近な人々との関わりに関心をもち、適切に行動することができるようになっている。 ○ 「自分と社会とのかかわり」については、生活の場となる地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や、行動の仕方について考えることができるようになっている。 ○ 「自分と自然とのかかわり」については、1年を通じて野外で自然に触れる活動を設定し、虫眼鏡を使って虫を観察したり、草花遊びをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○ 「自分自身に関すること」については、成長を振り返り、自分や友だちのよさを探したり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活できるようになっている。 ○ 「学び方に関すること」については、季節の詩を書いてしおりにしたり、自分の町のよさを紹介する絵地図を作ったりする活動を通して、体験と言葉をつないで気付いたことや、楽しかったことを表現し考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、語彙力の向上のためのコラム「せいかつことば」、単元や巻末に学習や日常生活に必要なスキルをまとめた資料「がくしゅうどうぐぼこ」などが取り扱われている。
内容の 排 構 列 成・ 分量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、季節に沿った大単元構成で、児童の思考の流れや活動のつながり・広がりに応じた内容を取り扱っている。飼育・栽培においては、身近な動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、スタートカリキュラム「みんななかよし」を掲載し、無理なく学校生活を始められるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページで262ページとなっており、2パーセント減となっている。
使用 上の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが吹き出しで気付きへのヒントを与えたり、透明シートを隠し絵として活用したりするなど、児童の学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 単元名を段階を示す表現にしたり、自分たちで考えることを促す表現を多く用いたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 見開きで活動課題の明確化と意欲喚起のための「木の葉スペース」を設定し、児童の目線で撮影した写真を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

生活科調査研究報告書

書 名 観 点	学校図書 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下 135 136
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域の商店街の人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動することができるようになっている。 ○ 「自分と社会とのかかわり」については、生活の場となる地域の商店街や消防署などを繰り返し訪問したり、調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や、行動の仕方について考えることができるようになっている。 ○ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れて、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○ 「自分自身に関すること」については、成長を振り返り、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活できるようになっている。 ○ 「学び方に関すること」については、虫について調べたことを伝える絵カードを作ったり、町探検の結果を壁新聞にしてまとめたりする活動を通して、体験と言葉をつないで気付いたことや、楽しかったことを表現し考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元末に学習スキルをまとめた資料「学びかたずかん」や各巻に単元の学習をさらに広げるよう促す資料「チャレンジずかん」などが取り扱われている。
内 容 の 排 構 列 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、ストーリー性をもたせた活動の中で多くの動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。また、冬の行事として、「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせている。 ○ 内容の排列については、スタートカリキュラム「1ねんせいになったよ」を掲載し、円滑に小学校教育へと接続できるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページで260ページとなっており、12パーセント増となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節ごとの各地の行事を取り上げたり、共通した4人の登場人物が学習活動を展開させたりするなど、児童の学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 各単元を学び方がわかるステップで構成したり、資料「ものしりノート」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 四季とのかかわりで学習を見通すことのできる目次や「生きものずかん」、「学びかたずかん」で資料を示すなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

生活科調査研究報告書

書名 観点	教育出版 せいかつ みんな なかよし 上 せいかつ なかよし ひろがれ 下 1 3 7 1 3 8
取扱 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、公共施設で働く人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動することができるようになっている。 ○ 「自分と社会とのかかわり」については、生活の場となる地域の商店街や図書館などを繰り返し訪問したり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考えることができるようになっている。 ○ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れて、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃの発表会をしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○ 「自分自身に関すること」については、成長を振り返り、できるようになったことを考えたり自分や友だちのよさを探したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活できるようになっている。 ○ 「学び方に関すること」については、町探検で調べた店を紹介するポスターを作ったり、複数の意見を付箋紙を使ってまとめたりする活動を通して、体験と言葉をつないで気付いたことや楽しかったことを表現し考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末に学習に必要なスキル等をまとめた資料「ぐんぐんポケット」、季節ごとの動植物の様子を伝える「のはらカレンダー」などが取り扱われている。
内容の 排 構 成・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、飼育・栽培において、身近な動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。また、釧路市の幣舞橋や旭川市の旭山動物園などを取り上げ、北海道とのかかわりをもたせている。 ○ 内容の排列については、スタートカリキュラム「わくわくどきどきしょうがっこう」を掲載し、新生活への期待を高めるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページで234ページとなっており、17パーセント増となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターを用いて活動を支援するヒントを与えるなど、児童の学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 単元末に自己評価欄や巻末に学習記録を書き込む「生活科ノート」を設けて、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 単元名やねらい、関連資料がわかる紙面のレイアウトや、活動の広がり促す「はっ見ヒント」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

生活科調査研究報告書

書 名 観 点	光村出版 せいかつ 上 みんな だいすき せいかつ 下 みんな ともだち 1 4 1 1 4 2
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域のパン屋を取材したりするなどの活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動することができるようになっていく。 ○ 「自分と社会とのかかわり」については、生活の場となる地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や、行動の仕方について考えることができるようになっていく。 ○ 「自分と自然とのかかわり」については、1年を通じて野外で自然に触れる活動を設定し、草花遊びをしたり、木の実を使った遊びをしたりする活動などを通して、自然のすばらしさに気づき、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○ 「自分自身に関すること」については、成長を振り返り、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活できるようになっている。 ○ 「学び方に関すること」については、町探検で調べた店を紹介するポスターを作ったり、自分の成長を巻物にしてまとめたりする活動を通して、体験と言葉をつないで気付いたことや、楽しかったことを表現し考えることができるようになっていく。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、学習を広げたり深めたりするための「もっとやってみよう」、季節の動植物の様子を示した「きせつのおくりもの」などが取り扱われている。
内 容 の 排 列 構 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、思考の流れを大切にしたホップ・ステップ・ジャンプの3段構成になっている。飼育・栽培においては、身近な動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、スタートカリキュラム「きょうからいちねんせい」を掲載し、安心して小学校生活のスタートが切れるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページで224ページとなっており、5パーセント増となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5曲のオリジナルソングを掲載したり、導入で経験と活動を結び付ける言葉を示したりするなど、児童の学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 各単元において、活動を深めたり広めたりするヒントを掲載し、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 注意事項等はマークを使い明確に呼びかけたり、様々なタッチのイラストを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

生活科調査研究報告書

書名 観点	啓林館 わくわく せいかつ 上 せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ 下 143 144 145
取扱 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域の菓子店を取材したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動することができるようになっていく。 ○ 「自分と社会とのかかわり」については、生活の場となる地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や、行動の仕方について考えることができるようになっていく。 ○ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れて、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃ遊びをしたりする活動などを通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○ 「自分自身に関すること」については、成長を振り返り、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活できるようになっている。 ○ 「学び方に関すること」については、虫について調べたことを壁新聞にまとめたり、複数の意見を付箋紙に書いてまとめたりする活動を通して、体験と言葉をつないで気付いたことや、楽しかったことを表現し考えることができるようになっていく。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、野外活動にかかわることをまとめた別冊の「せいかつたんけんブック」、巻末に学習に必要なスキルを示した「わくわくずかん」などが取り扱われている。
内容の 排 構 列 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、飼育・栽培において、身近な動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。また、「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとのいろいろな行事に気付けさせるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、スタートカリキュラム「いちねんせいになったよ」を掲載し、学校が安心できる楽しい場所と実感できるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページで307ページとなっており、10パーセント増となっている。
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動や気付きのヒントをキャラクターの吹き出しや文章で示し、児童の学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 各単元を4段階で構成したり、自分の考えを直接書き込むページを設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 巻末の資料や別冊との関連を示すマークや活動の段階を示すマークを付すなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

生活科調査研究報告書

<p>書名 観点</p>	<p>日本文教出版 わたしとせいかつ 上 みんななかよし わたしとせいかつ 下 ふれあいだいすき</p> <p>146 147</p>
<p>取扱 内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に小学校を紹介したり、地域で働いている人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動することができるようになっている。 ○ 「自分と社会とのかかわり」については、生活の場となる地域の商店街や図書館などを調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や、行動の仕方について考えることができるようになっている。 ○ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫できるようになっている。 ○ 「自分自身に関すること」については、成長を振り返り、できるようになったことを考えたり、自分や友だちのよいところを探したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活できるようになっている。 ○ 「学び方に関すること」については、自分たちで飼育した動物へ手紙を書いたり、自分の成長を巻物にしてまとめたりする活動を通して、体験と言葉をつないで気付いたことや、楽しかったことを表現し考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、いろいろな草花遊びをまとめた「くさばなあそびずかん」、季節の行事をまとめた「きせつだより」などが取り扱われている。
<p>内容の 排 構 列 成 ・ 分 量 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、飼育・栽培において、身近な動植物を取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。また、「くしろふゆまつり」や旭川市科学館などを取り上げ、北海道とのかかわりをもたせるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、スタートカリキュラム「いちねんせいになったら」を掲載し、安心して学校生活をスタートできるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページで270ページとなっており、15パーセント増となっている。
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元構成にストーリー性をもたせたり、児童のつぶやきや教師のせりふでヒントや問いを与えたりするなど、児童の学習意欲が高まるように配慮されている。 ○ 活動のきっかけや視点のヒントを与える絵カードを単元末に掲載するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 学年進行に合わせて成長する主人公を設定したり、側欄で注意などを示すマークを設定したりするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	